

第6回全国介護終末期リハケア研究会 研究大会

市民公開座談会

「人生最後の着地姿勢 (テレマーク)を支える」

9月16日(日) 定員 **300名** **入場無料**

17:00~18:30(16:40~受付) 事前申し込みはありません。

定員300名を超えた場合は入場できないことがありますのでご了承下さい。

講師 1

方波見医院 医師

父の医院を継承して奈井江町に戻り地域医療に従事して60年。2017年北海道新聞文化賞受賞。著書は、「がんとの対話」「ターミナルケアへの提言-いま、何が問われているか」「生老病死を支える」「いのちのメッセージ」など多数ご執筆。



方波見康雄 先生

講師 2

茨城県立健康プラザ 管理者

リハビリテーションの第一人者。茨城県では超高齢社会を乗り切るため大田氏考案の「シルバーリハビリ体操」指導士を養成、体操の普及をはかる。現在は指導士約8千人、養成事業を全国に展開中。著書に「介護予防と介護期・終末期リハビリテーション」「お棺は意外に狭かった」など多数ご執筆。



大田 仁史 先生

コーディネーター

キャスター・ジャーナリスト

北海道で多くの方から「のりさん」の愛称で親しまれ、約40年間メディアの世界で活躍。18年に渡り人気長寿番組である「のりゆきのトークDE北海道」の司会を担当。著書は、「佐藤のりゆきの新北海道デザイン」「佐藤のりゆきのぼくからの手紙」など多数ご執筆。



佐藤のりゆき さん



会場

札幌市医師会館5階大ホール

札幌市中央区大通西19丁目
(地下鉄東西線「西18丁目」駅下車1番出口そば)
TEL 011-611-4181(代表)

※駐車場(20丁目パーキング)には限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ 手稲溪仁会病院 担当:青山

TEL 011-685-3182